

令和8年1月28日

南相馬市議会議長 鈴木昌一様

会派名 誠心会
代表者氏名 菊地 洋一

調査研究報告書

- 1 期間 令和8年1月26日（月）～令和8年1月27日（火）
- 2 参加者 菊地 洋一 中川 庄一
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	令和8年1月26日(月)～令和8年1月27日(火)
旅行先	衆議院議員会館及び長井海の手公園(ソレイユの丘)
調査研究事項	下記のとおり
1月26日	衆議院議員会館
14:00～14:40	農林水産省 米政策全般について
14:40～15:00	復興庁 F-REI について
15:15～16:00	経済産業省 東電廃炉事業、RTF について
1月27日	長井海の手公園(神奈川県横須賀市)
10:00～10:30	施設の現状と課題について
1月26日	衆議院議員会館
14:00～14:40	農林水産省 米政策全般について
14:40～15:00	復興庁 F-REI について
15:15～16:00	経済産業省 東電廃炉事業、RTF について
米政策全般について 説明者 農林水産省 農業政策部企画課 課長補佐 石田 浩也 令和7/8年及び令和8/9年の需給見通し、政府備蓄米、民間在庫及び国の政策等について説明を受ける。 総理大臣・農林水産大臣が変わり政策が変わっているかの様な報道あるが、農林水産省としては、基本政策は変わっていない。需給バランスを見極め、政策を進めて行きたいとのこと。 国民に理解され、再生産できる、持続可能な農業政策の実行を要望する。	
福島国際研修教育機構の取組状況について 説明者 復興庁国際研究教育機構室 氏原 拓、荒尾 彩夏、清野 雅 福島国際研修教育機構(F-REI)の概要と浜通りで取り組んでいる研修内容の説明。 南相馬市としては、今後F-REIで取り組むロボット・ドローン分野をはじめとする様々な研究開発プロジェクトが、地元企業を巻き込んだものとなることを推進していただきたいと要望する。	

東京電力廃炉事業と福島ロボットテストフィールドの実証機器・設備の拡充について
説明者 経済産業省 軽部 蓮、相原 翔、小野貴史

東京電力による福島第一原子力発電所の廃炉事業及び福島ロボットテストフィールドの実証機器・設備の拡充について、現在取り組んでいる内容について説明を受ける。

廃炉事業について、南相馬市内企業がなかなか入り込めない現状にある。廃炉事業は長く事業であり、南相馬市内企業にとってもビジネスチャンスである。いかに市内企業が取り組めるか、その糸口を探ることを研究することが大切と感じる。

1月27日（火）

施設の現状と課題について

説明者 所長 土谷 啓介、統括責任者 内藤 純

ソレイユの丘を運営する㈱日比谷花壇は2,023年より横須賀市から指定管理に選定される。実績は、それまで約75万人の来園者だったものが、㈱日比谷花壇が指定管理を受けてからは100万人を超える来園者となっている。

リニューアルにおいては、ソレイユの丘にとっての新たなターゲットを絞り、これまでのお客様に加え、シニア、20～30代、ペット同伴、インバウンド等の旅行者を狙いにしている。年間を通じ誘客を図るため、風光明媚な景観に加え、年間を通じた花畑の管理と時期に合わせたイベント開催、大型アスレチック、食べ歩きができる飲食、キャンプ、アウトドア、ドックラン、アトラクション等様々な企画をしている。課題としては、施設管理に費用がかかること、年間を通じ様々なイベント開催の企画に労力がかかることがあげられる。